

実務利用検討ワーキンググループ

会長：町田 聡(パシフィックコンサルタンツ(株)) 幹事：黒台昌弘(株)間組、E-mail:kurodai@hazama.co.jp)
実務利用検討WGリーダー：熊谷樹一郎(摂南大学、E-mail:kumagai@civ.setsunan.ac.jp)

実務利用検討WGでは、国土マネジメントや国土防災に関係した行政機関における管理業務での衛星リモートセンシングデータ(以降、衛星データ)の利用が、リモートセンシングに関わる研究者が認識しているほど、広まっていない現状を振り返り、実務担当者の視点に立って衛星データの利用しやすい環境の整備を促進するアプローチを続けています。

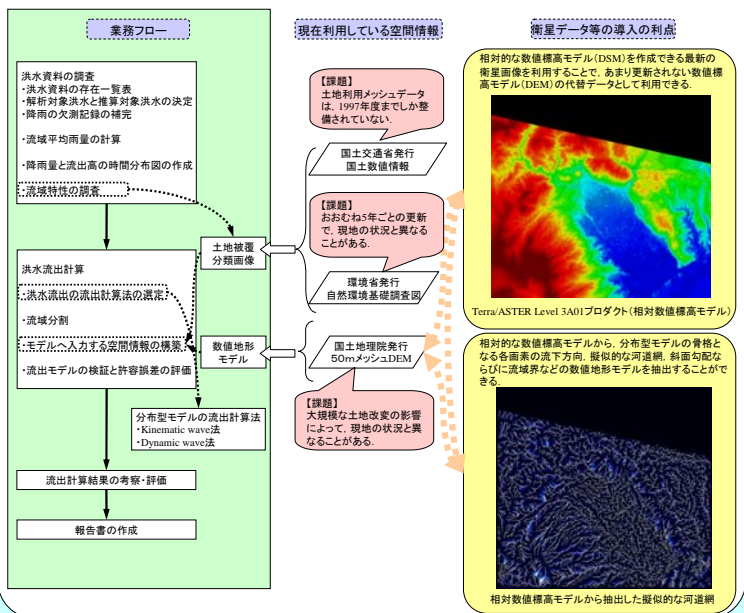
行政機関での通常の業務内容を調査した結果、衛星データを既存技術や現行法の補間技術として実務利用することを基本方針とし、WG、研究会、ひいては学会がオーソライズした衛星データの活用方法の考え方やその付加価値を「衛星データ活用ガイドライン(仮称)」として公にするアプローチを検討してきました。本ポスターでは、これまで活動経緯とについてご報告します。

「衛星データ活用ガイドライン(仮称)」作成の取り組み

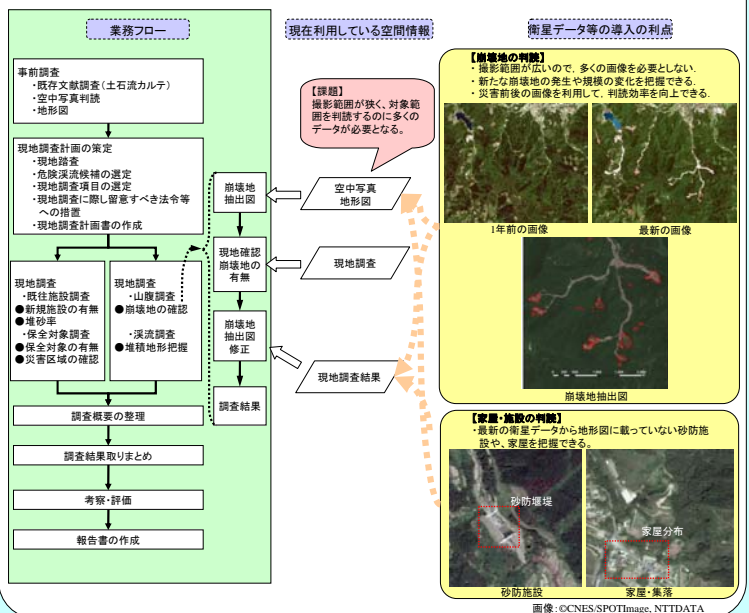
ガイドラインを「やらねばならぬ」という作業を規定するような指針ではなく、衛星データがどのように使えるかという「可能性」を提示するものと位置づけ、具体的な業務の中の作業プロセス(業務フロー)を対象として、活用方法の例をその利点とともに示すこととしました。これらをコアとして、ガイドライン全体を作成していく予定です。

業務ごとの衛星データ活用例

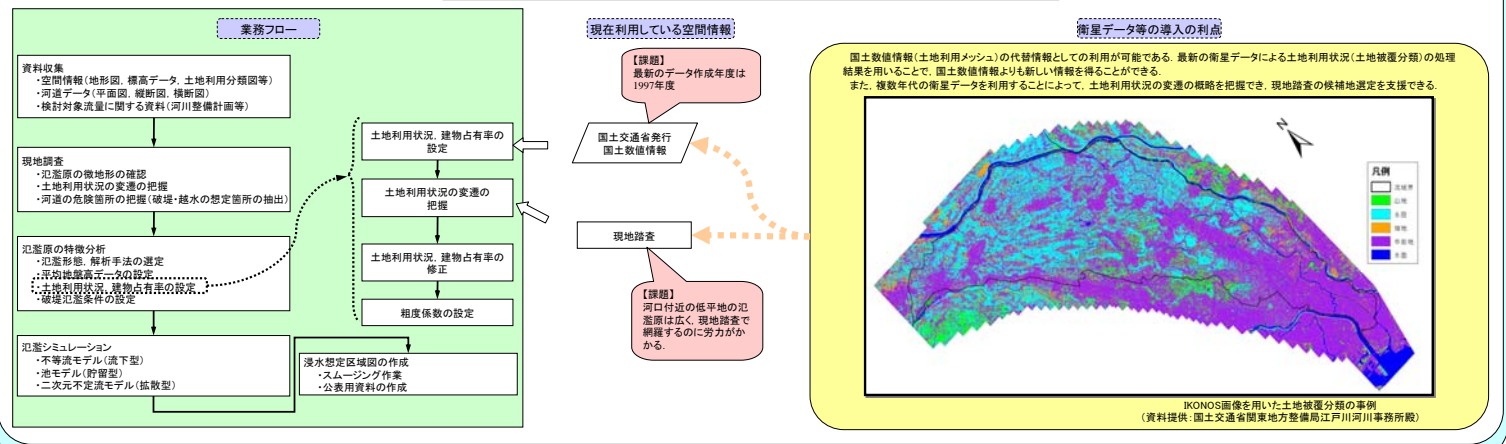
洪水流出計算における現況再現業務



土石流対策整備計画検討業務 崩壊地抽出図作成業務



中小河川における浸水想定区域図作成業務



今後、実務利用検討WGでは、調査対象とする業務分野や業務主体の幅を広げ、衛星データの実務利用を促進していくためのポイントを系統立てて整理するとともに、具体的な利用案として提案していく予定です。本研究会の活動にご興味のある方は、上記の幹事、WGリーダーまでお問い合わせください。